

はじめに

1 亀岡市における生涯学習

《生涯学習とは》

生涯学習は、自己の資質向上をはじめ、生活の向上や職業能力の向上を目指して、一人ひとりの自発性に基づいて進められる活動です。学校や社会の中で意図的、組織的な学習活動として行われるだけでなく、日常生活のさまざまなステージの中でも行われ、必要に応じて、また自分にふさわしい手段、方法を選びながら生涯を通じて進められます。少子高齢化や人口減少、グローバル化、科学技術の革新、環境問題の顕在化、自然災害の多発など、急激に変化する社会の中で自己実現を図り、自己の生活を向上させ、発展させるには、絶えず新たな知識や技術を身につけ、自ら判断し、行動する能力を養うことが重要であり、物の豊かさとともに、心の豊かさをはぐくむ上で大きな意味を持つものです。

《これまでの取り組み》

亀岡市は、昭和63年3月に「亀岡市生涯学習都市構想」をとりまとめ、全国に先駆けて「生涯学習都市」を宣言し、今日まで同都市構想の「人間の尊重」という基本理念に沿った各種施策の展開により、「生涯学習まちづくり」を推進してきました。

本市では、これまで「生涯学習」を文教施策ではなく総合政策と位置づけ、全庁的な生涯学習都市づくり推進体制で推進してきました。「コレージュ・ド・カメオカ」「市民大学」「丹波学トーク」の3大シンボル講座の開講をはじめとした生涯学習機会の提供・充実や、「亀岡市生涯学習都市推進基本計画・学習基盤編」・「亀岡市生涯学習プログラムー理論編ー」の策定により、生涯学習都市を形成してきました。また、生涯学習は本来的に多種多様な面を持つことから、真に住民が求める自発性に基づく自由かつ創造的な学習の営みを求めるために、公益財団法人生涯学習かめおか財団を平成2年に設置し、さらに平成10年9月には、本市における生涯学習の中核施設として「ガレリアかめおか」を開設し、各生活圏ごとに配置した生涯学習施設と共にその基盤づくりを推進してきました。

こうした中で、平成11年10月には、変化する社会経済情勢に対応した新しい世紀における亀岡市の生涯学習のあり方について、亀岡市新世紀生涯学習構想懇話会（佐々木高明座長）から答申を受け、平成12年4月には「亀岡市生涯学習推進基本計画」（10年計画）を策定し、それ以来、同計画に基づき「亀岡生涯学習賞」の制定や、地球環境子ども村事業の拡充、生涯学習人材育成講座・プログラムの実施など、生涯学習都市としての人づくりを重点とした全庁的な取り組みを進めてきました。

そして、平成21年度には市民公募委員等により新たに構成した「亀岡市生涯学習推進審議会」において計画の進捗及び社会潮流の変化などに対応して、計画・事業内容の見直しや新たな取組を定めた「新亀岡市生涯学習推進基本計画」を策定し、総合的な生涯学習施策を推進してきました。

2 今後の生涯学習推進に向けて

《本市における生涯学習の方向性》

現在日本は、人生100年時代といわれる長寿化の状況にあります。また、新たな社会の姿として超スマート社会（Society5.0）の実現が提唱されるなど、更に大きな社会変化が訪れようとしています。そのほか国際的な動きとして、2015年9月の国連サミットにおいて、「持続可能な開発目標」（SDGs）が採択され、持続可能な世界を実現するための国際目標が定められており、日本国内の実施方針においても優先的に進める分野の一つとして「あらゆる人々の活躍の推進」が挙げられています。

これらの課題に対処するためには、学びの力を生かすことが不可欠であります。特に人生100年時代には、「高齢者から若者まで、全ての市民に活躍の場があり、全ての人々が元気で活躍し続けられる社会、安心して暮らすことができる社会をつくる必要^(注1)」があり、その重要なカギを握るのは、生涯学習社会の実現にあると考えられます。一人ひとりが学びを通じてその能力を維持向上し続けることができるよう、誰もが生涯にわたり必要な学習を行い、その成果を個人の生活や地域での活動等に生かすことのできる「生涯学習社会」実現への取り組みをより強固に進める必要があります。

教育振興基本計画では、個人においては、「自立した人間として、主体的に判断し、多様な人々と協働しながら新たな価値を創造する人材を育成していくこと」が重要とされています。また、社会においては、「一人一人が活躍し、豊かで安心して暮らせる社会の実現」が求められていることが示されており、これらは、今後も普遍的に重要とされています。

(注1：人生100年時代構想会議「人づくり革命、基本構想」平成30年6月)

「亀岡市生涯学習都市宣言」から30年を経過したいま、本市においても人口減少、少子高齢化は進行しています。課題の複雑化や社会の多様化、グローバル化、ICT化など様々な分野における急激な変化に向き合い、一人ひとりが自らその変化に対応する能力を身に付け、実践していくことが求められます。すべての人がより豊かな人生を送ることのできる「生涯学習社会」実現を進めるために、学びを通じた能力の維持向上と、生涯にわたる学習とその成果の活用が発揮できる社会を形成することが必要です。

このような「生涯学習社会」の形成には、これまで生涯学習への参加が少なかった若者や現役世代、外国人などを含めたより多くの人を学びや活動につなぎ、それぞれが主体的に参加することのできるきっかけづくりを推進することが重要です。

そのためには、行政のみならず市民・地域・学校・企業・団体など多様な主体の連携と協働が不可欠であり、その協働のもと亀岡の生涯学習に取り組み、その力を幅広く地域社会に活かしていくことによって、地域で学び地域で育つ「学びと活動の循環」を求めています。

《生涯学習の次のステージに向けて》

新亀岡市生涯学習推進基本計画の計画期間の満了を迎えるにあたり、亀岡市生涯学習推進審議会（上杉孝實会長）において、これまでの計画と施策の実施状況の検証を行い、次なる10年間における亀岡市の生涯学習のあり方について審議されました。

これまでの生涯学習の根本となってきた考え方や重点的な分野については普遍的なものとして尊重するとともに、社会経済情勢の変化への対応を盛り込んだ新しい10年間における生涯学習施策のあり方が提案されています。

I 計画の策定にあたっての基本的な考え方

《基本的な考え方》

○ 人づくり

地域における住民の学びは、健康な暮らし、安心・安全な暮らし、子育て、趣味・教養の充実、職業的・社会的課題への対応、生きがいづくりなど、個人の問題意識や関心をきっかけとして行われ、その学びの過程を通じて個人の知的欲求が満たされ、生活の改善や、人間としての成長、自己実現につながっていくことが期待されます。

○ つながりづくり

住民の学びを通じたつながりの輪の中で、同様の悩みや類似の関心を持つ者同士の助け合いや、異なる意見を持つ他者との対話や議論が生まれます。このような相互学習を通じて、相互に理解し認め合うことによる自己肯定感や幸福感、つながり意識などが醸成され、住民同士の絆が強まるなどの効果がもたらされると考えられます。

○ 地域づくり

地域で共に学び、問題意識を共有したり、相互に認め合い、自らが地域の中に居場所を持っているという肯定感を得たりする過程を通じて、地域に対する愛着や誇り、帰属意識が育まれます。このことは、住民同士が対話や議論を通じて地域の将来像を考え、自らも当事者としてよりよい地域づくりに持続的に取り組もうとする意欲につながることが期待されます。

1 計画の基本方針

変化の激しい現代社会にあって、人々が主体的に生きるためには、幼少期から生涯にわたって、家庭、地域、学校、職場などで多様なかたちで学ぶ必要性が増大しています。

本計画においては、「人づくり」「つながりづくり」「地域づくり」に焦点を当て、資源を守り伝え、共生を進め、平和を実現し、人間であるための学習を大切にする取り組みを進めるとともに、市民自らが積極的に取り組む市民参画社会のまちづくりを推進するために、前計画において次のように設定された基本的な方針を尊重し、「ふるさと力の向上」を目指し継続していくものとします。

『 人間の尊重、ふるさとへの愛、創造性豊かなたくましい人づくり 』

この方針に基づき、私たち市民があらゆるライフステージにおいて、

「意欲とニーズに応じて自由に学習の機会や場を選択して学ぶことができる」

「多彩な取り組みが市民の自主性で展開される」

「生涯学習の成果が正しく評価され、社会の充実・発展に活かされる」

社会の実現を目指し、必要な生涯学習施策を体系的かつ計画的に推進していくものです。

2 計画の位置づけ

- (1) この計画は、市民、企業、行政の役割分担および協働、協調、協力によって進めるものとします。
- (2) この計画は、生涯学習関連施策を体系的に位置づけることにより、その重点を明らかにし、効果的な展開を図るものとします。
- (3) この計画は、亀岡市総合計画およびほかの諸計画との整合を図りながら推進するものとします。
- (4) この計画は、国や府の各種審議会の答申や提言、およびこれらに基づく施策との整合性に配慮しながら、まちの独自性・個性を尊重したものとします。

3 計画の期間

本計画は、令和2年度を初年度に、令和11年度を目標とする、おおむね10年間の計画とします。

なお、社会は急激に変化しており、個人の多様性も増していることから、推進施策については、大幅な制度改正や社会情勢の変化等が生じた場合、必要に応じて見直しを行います。

II 計画の重点目標

本計画は、『人間の尊重、ふるさとへの愛、創造性豊かなたくましい人』づくりを基本方針としています。

この基本方針を達成していくため、基本的な考え方で示している「人づくり」、「つながりづくり」、「地域づくり」を重点的に取り組む目標と定めて、総合的な生涯学習施策を展開していきます。

(1) ふるさとを愛し学び合う人づくり

美しい自然環境と悠久の歴史を有する私たちのまち・亀岡には、豊かな資源や多様な文化が育まれてきました。こうした独自性を生かした個性的な学習・文化活動を展開し、一人ひとりが「多文化・共生のまち ふるさと亀岡」に誇りと愛着を持ち、豊かな資源や多様な文化を時代に引き継げる人づくりを進めます。

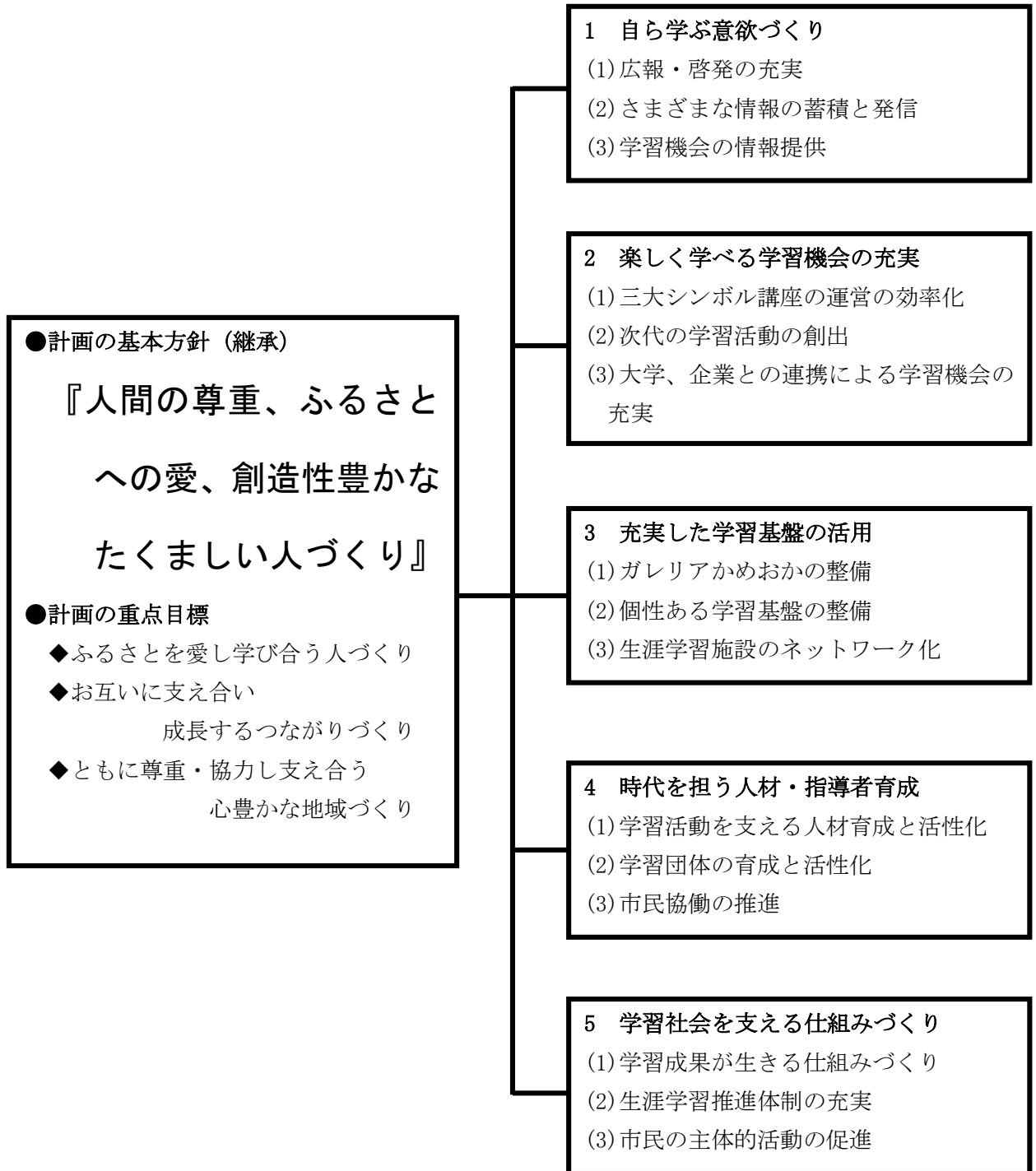
(2) お互いに支えあい成長するつながりづくり

社会参加にあたって、一人ひとりの主体的・自立的な学ぶ意欲や健やかな心身の増進を基本としながら、お互いに相手のことを思いやり、ともに支えあいながら知的欲求を満たし、自己実現・成長をつづけるつながりづくりを進めます。

(3) とともに尊重・協力し支え合う心豊かな地域づくり

地域のいろいろな場面で出会い、ふれあうあらゆる人と人が、お互いに認め合い、ともに尊重し合いながら、地域の将来像を考え、主体的・自立的に地域課題解決に協働して取り組めるつながりづくり・地域づくりを進めます。

■ 全体構成



1 自ら学ぶ意欲づくり

【基本的な方向】

- ・情報通信分野における技術の高度化や機器の普及が急速に進み、私たちの生活や経済活動において、情報の持つ役割がますます大きくなっています。
- ・さまざまな情報が氾濫するなか、亀岡らしい個性ある情報を蓄積するとともに、その情報を人と人とのふれあいを基本として適切に提供する体制作りを進めます。
- ・また、情報機器の普及や高度化などに対し、情報を使いこなす知識や技術習得に向けて市民自らが主体的に学ぶ機会づくりに努めます。

【推進施策】

(1) 広報・啓発の充実

①広報活動の充実

市民との協働による、市民に分かりやすく興味・関心を高める広報紙・情報誌の作成や、亀岡市広報の活用など、市民・行政が連携・協力して、生涯学習への参加を促す情報の提供に努めます。

また、亀岡市ホームページや活動団体などによる Web サイト（ホームページなど）を活用した情報発信を強化します。

②亀岡生涯学習賞の充実

広く生涯学習の実践や研究に貢献した個人・団体を讃え、表彰する「亀岡生涯学習賞」の充実を図ります。

また、その功績を次の学びにつなげる取り組みを促進します。

③生涯学習関連事業の開催・誘致

生涯学習都市としてのイメージを高め、広く内外にPRするため、生涯学習関連事業等の効果的な開催を図ります。

④行政職員意識の醸成

行政の各部局が進めている事業のうち、「市民の学び」・「人づくり」に関わる部分を全て視野に入れ、連携して進めるため、それぞれの分野における実践を促進します。

(2) さまざまな情報の蓄積と発信

①学習活動にかかわる情報の受発信

市内の学習活動に関わる民間・団体・サークルに関する情報を集約でき、Web サイト（ホームページなど）を活用した誰もが情報を受発信できる方法を検討します。

②多様な学習関連団体のネットワーク化の促進

ガレリアかめおかやかめおか市民活動推進センターを中核・中継拠点として、学習関連団体などの交流やネットワークづくりを促進します。

(3) 学習機会の情報提供

①市民生涯学習ニーズの把握

アンケート調査や各種団体・サークルへのヒアリング（聞き取り）調査を通じて広く市民の学習ニーズを把握するとともに、ニーズに対して効率的・効果的なプログラムの手法や取組みの重点化を図ります。

特に、これまで生涯学習活動に未参加の人や、子育てで多忙な世代、外国籍市民などの学習ニーズの把握と学習機会の提供・充実に努めます。

②情報提供・学習相談機能の充実

ガレリアかめおかなど生涯学習施設における相談窓口の充実・設置を推進します。また、学習活動に関して専門的な助言・指導のできる人材育成を推進します。

重点事業

多様な主体をつなぐ情報のプラットフォームづくり
亀岡生涯学習賞をはじめとする生涯学習事業の充実
学習関連団体のネットワーク化の促進
市民の生涯学習ニーズの調査把握

2 楽しく学べる学習機会の充実

【基本的な方向】

- ・本市では、全国に先駆けて「生涯学習のまちづくり」を標榜し、市民、関連団体、行政が一体となって、その推進に努めてきました。その成果として、学習活動に対する市民の意欲は高く、また、市民全体の生涯学習活動が活発に展開されています。
- ・今後はさらに多様化・高度化する学習ニーズに的確に対応するとともに、参加する人の層を広げていくため、運営・参加して楽しいと感じられる学習機会を効率的・効果的に提供します。

【推進施策】

(1) 生涯を通じた学習機会の充実

①三大シンボル講座の運営の効率化

コレージュ・ド・カメオカ、亀岡市民大学、丹波学トークの三大シンボル講座については、より広い市民の自主的な運営を基本に、連携・協力による事業の効率的・効果的な運営を図ります。

また、自治会との連携などにより、新たな参加者の拡充など講座の活性化を図ります

さらに京都先端科学大学をはじめとする大学や研究機関・企業との連携など、事業の充実や運営の効率を高める体制づくりを推進します。

②生涯学習プログラムの充実

市民の潜在的な学習ニーズを喚起するとともに、俳句大賞など参加・体験を通じて主体的に取り組むことのできる工夫をこらした生涯学習プログラムの開発・充実を図ります。

また、身近な生涯学習施設において、市民のニーズに応じたプログラムを提供できる体制と情報ネットワークの充実を進めます。

③出前講座等の開催

地域や団体・グループの発意・主体性に基づき、講師の派遣や人材バンクの活用などによる出前講座の開催を進めます。

④市民の多様化への対応

多様化する市民・コミュニティにおける課題解決に向けた、行政と地域が一体となった多文化・共生の環境づくりを進めます。

(2) 次代の学習活動の創出

①市民まちづくり活動の支援

市民による主体的なまちづくりの活動やイベントなどの企画・運営を促進するとともに、公募などによる市民組織・団体からの企画提案事業に対し、本市または（公財）生涯学習かめおか財団がこれを資金面で支援するとともに、かめおか市民活動推進センタ

一においてこれまで活動実績のある団体とのマッチングなどの相談を行うことにより、協働で実施する仕組みづくりに取り組みます。

特に、コミュニティ（自治会）を単位とした身近な地域における学習の機会づくりを促進・支援します。

また、まちづくりに取り組む市民相互の意見・情報交換の場やともに学ぶ機会づくりに努めます。

（３）大学、企業との連携による学習機会の充実

①相互連携の強化

京都先端科学大学をはじめ、大学や企業との共催・協働による学習活動を推進します。

また、研究生の相互受け入れなど、人的な交流と相互に学びあう機会づくりに努めます。

②社会人学習の推進

京都先端科学大学をはじめ、大学や企業との連携により、社会人が企業内や地域においてより活躍の幅を広げることができるよう、ニーズの調査および高度な技術や新たな知識を取得するための学習機会の提供に取り組みます。

重点事業

三大シンボル講座をはじめとする生涯学習機会の充実

多様化する地域の実情の把握と課題解決に向けた協力体制の構築

市民活動の支援と市民へのPR

大学・企業との連携による学習活動の促進

3 充実した学習基盤の整備

【基本的な方向】

- ・「ガレリアかめおか」は、本市の生涯学習推進に大きな役割を担っています。
- ・今後は、生涯学習関連施設のバリアフリー化や長寿命化などの施設整備・充実に努めます。あわせて、ガレリアかめおかを中心に、市内の充実した生涯学習施設を効果的に活用するとともに、市域のどこでも高度な学習活動に参画できるよう、施設相互のネットワークの強化を図ります。
- ・また、社会経済環境の変化に伴う学習ニーズの多様化に対応し、本市の個性・独自性のある情報を発信する魅力的な学習施設の維持に努めます。

【推進施策】

(1) 身近な学習基盤の充実

①ガレリアかめおかの整備

平成10年の供用開始以来、老朽化が進行しているため、計画的な設備の修繕・更新を行うことにより施設の長寿命化を図ります。

②地域生涯学習施設の効果的な活用

市民や地域との連携を図りながら、ガレリアかめおかのほか、図書館や文化施設をはじめとする既存の社会教育施設の効果的な活用を推進します。

③かめおか市民活動推進センターのニーズに合わせた強化と見直し

市内で活躍するNPO（民間非営利団体）やNGO（非政府組織）、ボランティア組織に関する情報を蓄積し、その連携や相互支援・協働をコーディネートする「かめおか市民活動推進センター」の活動の充実を図ります。

また、新たな課題解決に向けた市民活動団体の取組みを継続・活性化させるため、ニーズに合わせた強化と見直しを図ります。

(2) 個性ある学習基盤の整備

①地域の特色ある学習環境の整備

地球環境子ども村（亀岡市交流会館）や梅岩の里生誕地など、亀岡の自然環境や文化を学び生かせる環境づくりを推進します。

②余裕施設の効果的な活用の推進

余裕ある公共または公共的な空間・施設について、市民活動団体や地域との連携などによって効果的な活用方法を研究し、その活用を図ります。

(3) 生涯学習施設のネットワーク化

市内の生涯学習施設、コミュニティ施設などの特徴や役割を再整理し、取り組み事業の連携を行うとともに、ガレリアかめおかを拠点として施設相互のネットワーク化を進め、それぞれの利便性を高めます。

あわせて、地域の特性に応じた生涯学習事業の情報交換や共同化などネットワーク化に努め、身近な地域における学習活動の充実を図ります。

重点事業

既存施設の適正な施設管理・長寿命化と効果的な活用の推進
中間支援団体としての亀岡市民活動推進センターの機能強化
地球環境子ども村事業・梅岩の里生誕地整備事業の推進

4 次代を担う人材・指導者の育成

【基本的な方向】

- ・市民が主体となって、より充実した生涯学習への参加機会を創出し、取組みを継続していくためには、それを支え、リードする人材、指導者が必要です。
- ・これまでの学習活動などの取組みを通じて、強い意欲と高い見識を持った人材や団体・組織をより多く育成していきます。
- ・一方、少子高齢化や地域社会の多様化、災害の多発化など、大きく変化しつつある青少年、子どもの育つ環境を充実したものにするため、学校教育や社会教育の充実に努め、生涯にわたって自ら学び続けられる基礎的な力と、豊かな心を持った青少年・子どもを育成します。

【推進施策】

(1) 学習活動を支える人材育成と活性化

①生涯学習ボランティアの育成

まちづくり市民セミナーの充実などを通じて、自発的に学習活動を支援する人材の育成に努めるとともに、その効果的な活用や派遣の仕組みを検討します。

②指導者・リーダーの育成

市民活動団体における活動意欲の向上や取組みの高度化を図るため、生涯学習に関わる団体・グループのリーダーや指導者の交流、共同研修の機会づくりを推進します。

③学習相談員の育成

学習活動について、専門的なアドバイスや指導のできる相談員を育成・確保するとともに、拠点施設への適切な配置を進めます。

④人材の地域参加と活用

一人ひとりが地域における今後のまちづくりに参加するためのきっかけづくりに努めるとともに、その力が発揮され活用できる取組みを促進します。

また、技術やノウハウ、地域の特徴ある知識や文化を次世代へと継承・伝承していくため、小・中・高校や大学、地域との連携による取組みを推進します。

(2) 学習団体の育成と活性化

①市民組織の育成と活動の活性化

市民や活動団体の自主的な活動を促進するとともに、新たなグループの育成など、自主的な組織の一層の活性化を図ります。

②活動団体の連携・交流の場づくり

活動団体相互の交流や共同事業の促進など、活動の効果を高める連携・交流の機会づくりを進めます。

(3) 市民協働の推進

①協働による学習・まちづくり活動の推進

市民や活動団体相互による協働など、多様な手法で取り組む学習活動やまちづくりの活動の活性化を図ります。

②協働を促進・支援する仕組みの充実

協働の重要性に関する市民及び行政職員に対する意識啓発に努めます。

また、協働の取組みを促進・支援するための制度や仕組みの整備を推進します。

重点事業

生涯学習ボランティアの育成と活用

ギャラリーかめおか人材バンクの運用と充実

地域学習の推進

市民協働の推進

5 学習社会を支える仕組みづくり

【基本的な方向】

- ・学習活動はそれ自体が大きな目的であり、目標となるものですが、さらに一歩進んで、その活動がまちづくりに貢献したり、新たな資格の取得や事業化へと進んだりすれば、参加・参画する意欲がさらに高まることが期待されます。
- ・このため、これからの生涯学習活動において、学習の成果が社会的に評価され、さらに社会に還元される仕組みづくりに努めます。
- ・また、本市における生涯学習活動がさらに多くの市民に広まり、さまざまな事業が市民の主体的な取組みのもと、積極的に展開される推進体制を市民、企業、行政が一体となつてつくりあげていきます。

【推進施策】

(1) 学習成果が生きる仕組みづくり

①学習成果を活かして地域で活躍する仕組みの構築

生涯学習活動や社会体験を通じて多様な知識や技術、人的なネットワークなどを習得した人材が、地域や学校で次の新たな活動参加者にその蓄積を伝え、また、地域の課題解決や地域の活性化に活躍する学びの循環の仕組みづくりを進めます。

②生涯学習人材バンクの有効活用

専門的な技術や知識、人脈、ノウハウを持つ市民の登録を呼びかけ、身近なコミュニティの人材を活用するデータベースとして広く情報提供する「生涯学習人材バンク」の有効活用を図ります。

③地域、大学、企業との連携による学習成果のまちづくりへの活用

京都先端科学大学をはじめ、知識・技術やノウハウを持った人材の大学や企業との人材交流を通じて、学習成果を活用する方法について検討します。

また、学習成果がセーフコミュニティや環境保全、景観形成など、持続可能な地域社会づくりに活用・反映される仕組みづくりを推進します。

(2) 生涯学習推進体制の充実

①企業の協力体制の確立

市内に立地する企業に対し、生涯学習の重要性の認識・理解の形成に努めるとともに、生涯学習活動に対して組織的に協力・支援する体制づくりを促進します。

②生涯学習推進組織の活性化

市民の具体的なニーズの把握、市民ニーズを反映した施策の効率的な推進、そして事業評価による重点化を円滑に進めるため、運営組織の役割分担の明確化と運営の高度化・簡素化に努めます。

また、生涯学習に関わる多様な市民活動団体の情報交換や交流機会の充実に努めます。

③高等教育機関との連携の強化

大学をはじめとする高等教育機関との連携による高度な学習機会の提供を要請していきます。

また、生涯学習活動やまちづくり活動への学生の参加や、亀岡を対象とした研究活動を促進・支援するための仕組みづくりを推進します。

(3) 市民の主体的活動の促進

①市民主体のプログラム運営の促進

既存のプログラムにおいて、より幅広い市民の運営への参画などを促進していきます。

②市民提案・企画の募集

実施・運営まで主体的に行うことを前提に、個人や活動団体などから生涯学習活動に関する企画・提案を募集し、審査のうえ、優秀なものについて積極的に支援します。

③市民生涯学習活動への支援

生涯学習活動に取り組む市民活動団体の活動支援や、市民団体の協働による情報発信、参加者募集、運営体制充実への取組みを支援する制度や仕組みづくりを推進します。

また、市民団体の自主的な企画提案による学習事業を促進します。

重点事業

ガレリアかめおか人材バンクの活用

学生・企業の生涯学習活動への参加促進

市民活動団体の支援